

# 第3期湖北地区地域福祉活動計画

2024年度▶▶▶2028年度

湖北地区地域福祉活動計画策定委員会

# 目 次

<b>1. 計画の概要</b>	p. 2
(1) 湖北地区地域福祉活動計画とは（計画の背景）	
(2) 計画の位置づけ	
(3) 計画の期間	
(4) 計画策定の体制	
(5) 計画策定の手法	
<b>2. 計画策定に関わる情報</b>	p. 5
(1) 第2期計画期間の活動をふり返って	
(2) アンケート、ヒアリング調査結果より	
<b>3. 理念と基本目標</b>	p. 1 5
▶理念と基本目標	
▶基本目標1 「つながる」（交流と参画）	
▶基本目標2 「たのしむ」（居場所づくり）	
▶基本目標3 「きづかう」（見守り）	
▶基本目標4 「よりそう」（支援）	
▶基本目標5 「ささえる」（仕組みづくり）	
<b>4. 計画の推進方法</b>	p. 2 2
(1) 計画の推進方法	
(2) 計画の推進体制	
<b>5. 計画策定に関わる情報</b>	p. 2 3
(1) 計画推進に関わる作業概要（日程）	
(2) 計画推進委員会名簿	
(3) 資料（湖北地区データ、アンケート調査、 ヒアリング結果など）	

## 1. 計画の概要

---

### (1) 計画の背景

#### ◆地域福祉は次の段階へ

湖北地区では、平成 28 年 4 月に「第 1 期湖北地区地域福祉活動計画」を策定し、さらに平成 31 年 3 月には「第 2 期湖北地区地域福祉活動計画」を策定し、「小谷山から琵琶湖まで福祉のロードでつなぐ湖北」を基本理念に様々な活動に取り組み、展開してきました。

しかしながら、この間にも、湖北地区においても高齢化率が徐々に増加し、ひとり暮らし高齢者や要介護認定者、しょうがい者など、支援を必要とする人が増加してきています。また、隣近所間のつながりの希薄化や地域活動の担い手の減少など、これまでの計画から継続して取り組む必要性のある課題がいくつもあります。

また一方で、新型コロナウイルスの影響などから、生活に困窮している人、ひきこもりなど、地域の中で孤立してしまっている人の課題など、新たな課題も浮かび上がり、国を挙げた「地域共生社会」の推進を図っているところです。

このようなことから、地域福祉をさらに発展的に推進し、かつ新たな課題への対応を図っていくために「第 3 期湖北地区地域福祉活動計画（以下、「第 3 期計画」という。）」を策定しました。

### (2) 計画の位置づけ

#### ◆計画の主体は「湖北地区に暮らすすべての住民」

湖北地区地域福祉活動計画は湖北地区に暮らすすべての住民による「住民参加」と、福祉活動団体が取り組む活動・実践と行政や関係機関・団体との「協働」を図りながら、福祉課題の解決を目指し、「住民主体による福祉のまちづくり」を進める計画です。

また、「長浜市地域福祉活動計画」と一体的に策定することで、市域、地区域のエリアによる活動メリットを最大限活かせる活動展開を計画するほか、長浜市が策定する行政の地域福祉に対する施策計画である「長浜市地域福祉計画」と連携・協働し、公民協働による地域福祉を推進します。

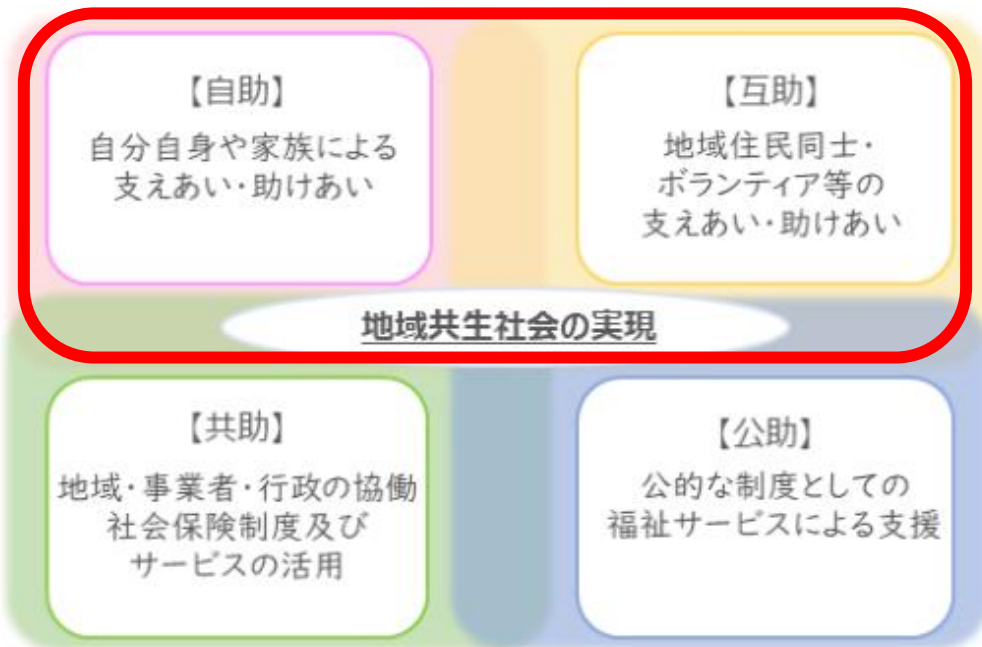
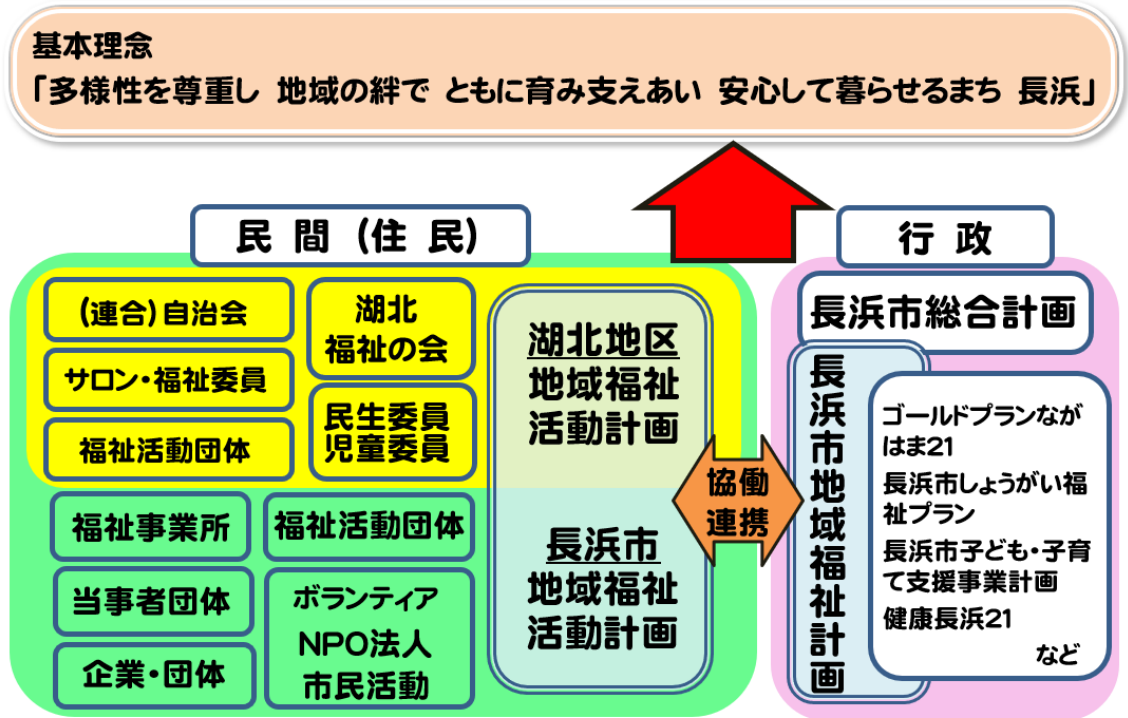
#### ◆湖北地区地域福祉活動計画の範囲

湖北地区地域福祉活動計画では、下記の図を参考に計画化する範囲として「自助・互助・共助・公助」のうち、①自助：住民一人ひとり、②互助：近所間、自治会、福祉活動団体の 2 つの範囲を中心的に、活動を計画化します。

#### ◆湖北地区全体の「住民主体の地域福祉活動」の計画

湖北地区地域福祉活動計画の主語は「(湖北地区の) 地域住民」であり、計画の内容は「住民主体の地域福祉活動」です。そのため、この計画は湖北地区で地域福祉活動に取り組む団体を中心に策定を行います。

## 計画の位置づけ



湖北地区地域福祉活動計画の範囲のイメージ

※第3期長浜市地域福祉計画より

### (3) 計画の期間

#### ◆令和6（2024）～10（2028）年度の5カ年計画

第3期計画は、同じく住民主体の活動の計画として関連性が非常に大きい「長浜市地域活動計画」と計画期間を合わせ福祉活動の展開に取り組みます。

### (4) 計画策定の体制

第3期計画は湖北地区内の福祉活動団体を中心とした「湖北地区地域福祉活動計画策定委員会」を設置し、計画策定に関わる協議を行いました。

また、湖北福祉の会総務部会が「コアメンバー会議」として計画に関わる細かな作業を行いました。（※詳細は p. 21 を参照ください。）

### (5) 計画策定の手法

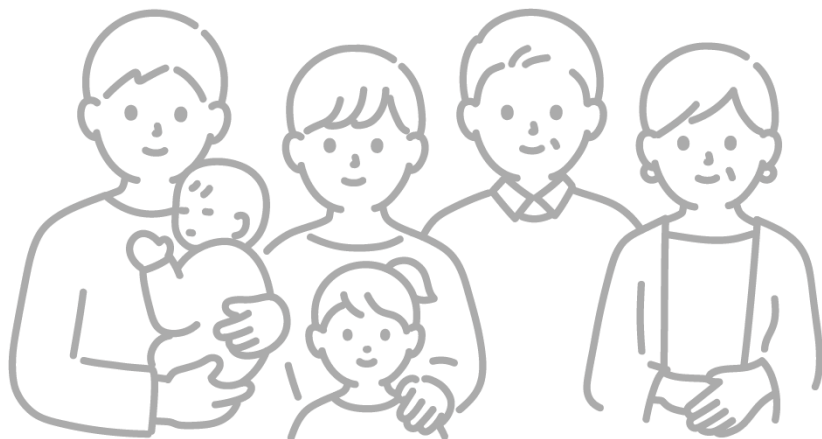
第3期計画の策定にあたっては以下の手法をもとに情報収集・分析を行いました。

#### ■データ分析

各専門職等から参考データを提供いただき、各分野のデータ分析を行いました。また人口動態など基本データを使用することで現在の地域状況を調査しました。

#### ■アンケート調査・ヒアリング調査の実施

一般住民や福祉活動者を対象とした地域福祉に関する意向などを把握することを目的としたアンケート調査または団体へのヒアリング調査を行いました。



## 2. 計画策定に関わる情報

### (1) 第2期計画期間の活動をふり返って

※ふり返りの項目は第2期湖北地区地域福祉活動計画の基本目標に沿っています。

#### ①「おいでやす」の居場所づくり

地域福祉活動の最も基盤となる「自治会」を中心とした居場所づくりであるサロン活動、また健康づくりに主眼を置いた居場所である転倒予防教室の活動は、社会情勢の大きな変化の影響が見られ、サロン活動は、活動件数が25自治会から19自治会へと減少、また転倒予防教室も10件から7件へ減少しています。高齢者のフレイル（介護状態に向かってしまう虚弱状態）が湖北地区においても増加しているため、高齢者の身近な社会参加の場であるサロン活動、転倒予防教室の立上げは喫緊の課題となっています。サロン活動は湖北地区では1990年代の後半に働きかけが行われているところが多く、運営に関わるスタッフの高齢化が活動継続の課題となっています。地区内においては、老人会や自治会と連携した運営手法に変更することで継続やリニューアルを図っているサロンもあることから、好事例の共有や、自治会内の協議の場を設けるなどの支援の働きかけが求められています。



#### ②「来とくれやす」の交流と参画

住民主体の地域福祉活動の推進は、活動への参画、そして活動をとおした交流によって広がります。第2期計画期における交流と参画については、コロナ禍の影響をできるだけ小さくしながらも、年代やテーマに分けるなどの工夫により、交流活動の継続を図ることが出来ました。

しかしながら、社会情勢的に新しい活動者の募集や交流内容にはある程度の制限もあったため、今後はその点における改善に取り組む必要があります。





### ③「おせんどさん」で支えあい

コロナ禍において、交流が難しくなる中、孤立の防止や地域の福祉活動の方向性を話し合う場づくりは必要な活動として継続することが出来ました。

福祉懇談会においては、社会情勢にあわせた活動全体の見直しや、つながりの維持について検討を行うことが出来ました。

また、子育て世帯の孤立防止を目的とした訪問活動では、地区内の出生者とその保護者への訪問を行うことで、身近な地域におけるつながりをつくとともに「一人じゃないよ」という安心感をもってもらうことが出来ました。



### ④「お互いさん」の見守り

コロナ禍においても、個別の支援活動であったため、社会情勢と活動の条件があったことで平時と同様の活動を続けることが出来ました。

特に民生委員児童委員協議会などと連携した見守り活動においては、個別に訪問し、様子の確認や交流を図りながらの見守り活動であったため、コロナ禍においても孤立を防ぐ重要な活動として取り組むことが出来ました。

自治会における見守り活動の体制としては、命のバトンを活用した緊急時に必要な情報整理の取組みがほぼ全自治会において取り組まれました。発展的な活動として、防災と福祉の両面の情報を盛り込んだ「防災・福祉マップ」作成をとおした自治会内の情報共有の場づくり、見守り活動の連携の場となる「見守り会議」などに取り組まれる自治会もあり、見守り活動の充足につながっていることから、地区内の自治会に展開していくことが望まれています。

また、見守り活動に関わる研修会については、ひきこもりや認知症など活動に必要な困りごとを学ぶだけでなく、孤立化が進む社会の状況や課題に対応した新たな制度など、見守りから支援に至るまでを学ぶ機会をつくることが出来ました。



## ⑤ 「おきばりやす」の基盤づくり

地域住民へ福祉活動の様子を伝える広報誌の発行、子どもの健やかな成長の支援などを継続的に取り組むことが出来ました。

また、近年に制度や条例が制定されたしょうがい分野の取組みについて、専門機関を交えた活動の展開を協議・検討するなど、福祉の会の事業の改善に取り組むことが出来ました。





(2) 各種データ

①自治会別福祉データ

自治会別福祉データ

	自治会名	世帯数	男性	女性	合計	人口年少人口	生産年齢人口	高齢者人口	80歳以上人口	高齢化率	サロン	転倒予防教室	命のバトン	防災・福祉マップ	見守り会議	福祉委員	民生委員
1	小谷郡上	43	72	80	152	14	77	61	24	40.1%	○		○				1
2	小谷美濃山	13	15	12	27	4	14	9		33.3%			○				
3	小谷上山田	72	114	126	240	21	130	89	26	37.1%			○	○	○	○	1
4	下山田	32	56	52	108	12	52	44	19	40.7%			○				
5	二俣	28	48	43	91	10	52	29	11	31.9%	○		○				1
6	小谷丁野	143	258	258	516	61	276	179	74	34.7%	○		○				1
7	山脇	33	60	60	120	9	69	42	23	35.0%	○		○				1
8	河毛	82	131	144	275	38	128	109	31	39.6%	○	○	○	○	○	○	
9	別所	12	20	17	37		21	16	7	43.2%							0
10	留目	35	55	68	123	14	66	43	12	35.0%			○				0
11	小谷伊部	65	98	122	220	23	109	88	28	40.0%	○		○				1
12	小今	41	75	77	152	16	85	51	19	33.6%			○				1
13	賀	37	63	58	121	15	68	38	11	31.4%		○	○				1
14	馬渡	88	136	121	257	22	134	101	36	39.3%	○	○	○				1
15	大安寺	43	43	49	92	6	53	33	13	35.9%	○	○	○				1
16	南速水	40	59	73	132	12	69	51	25	38.6%			○				1
17	小倉	59	94	95	189	24	99	66	26	34.9%			○				1
18	湖北高田	90	142	148	290	40	165	85	30	29.3%			○				1
19	速水	460	731	792	1523	286	949	288	90	18.9%	○	○	○	○	○	○	2
20	八日市	75	115	126	241	20	125	96	45	39.8%			○				1
21	青名	60	98	96	194	12	101	81	26	41.8%	○	○	○				1
22	猫口	42	65	77	142	16	81	45	5	31.7%	○		○				1
23	沢	20	24	29	53	8	23	22	7	41.5%	○		○				1
24	湖北今	46	56	78	134	15	77	42	18	31.3%	○		○				2
25	山本	255	445	441	886	106	491	289	110	32.6%	○		○				1
26	五坪	30	53	54	107	15	50	42	12	39.3%			○				1
27	大光寺	30	42	44	86	7	45	34	9	39.5%			○				1
28	田中	44	74	79	153	14	89	50	24	32.7%			○				1
29	海老江	58	99	117	216	17	132	67	30	31.0%	○		○				1
30	延勝寺	95	133	138	271	21	148	102	43	37.6%	○		○				1
31	今西	80	123	111	234	29	123	82	21	35.0%			○				1
32	津里	38	69	63	132	19	71	42	11	31.8%	○	○	○				1
33	石川	17	20	28	48	4	25	19	4	39.6%			○				1
34	東尾上	33	48	50	98	6	53	39	17	39.8%	○		○				1
35	尾上	83	103	125	228	20	129	79	24	34.6%	○		○				1
	合計	2422	3837	4051	7888	956	4379	2553	911	32.4%	19	7	34	3	3	3	23

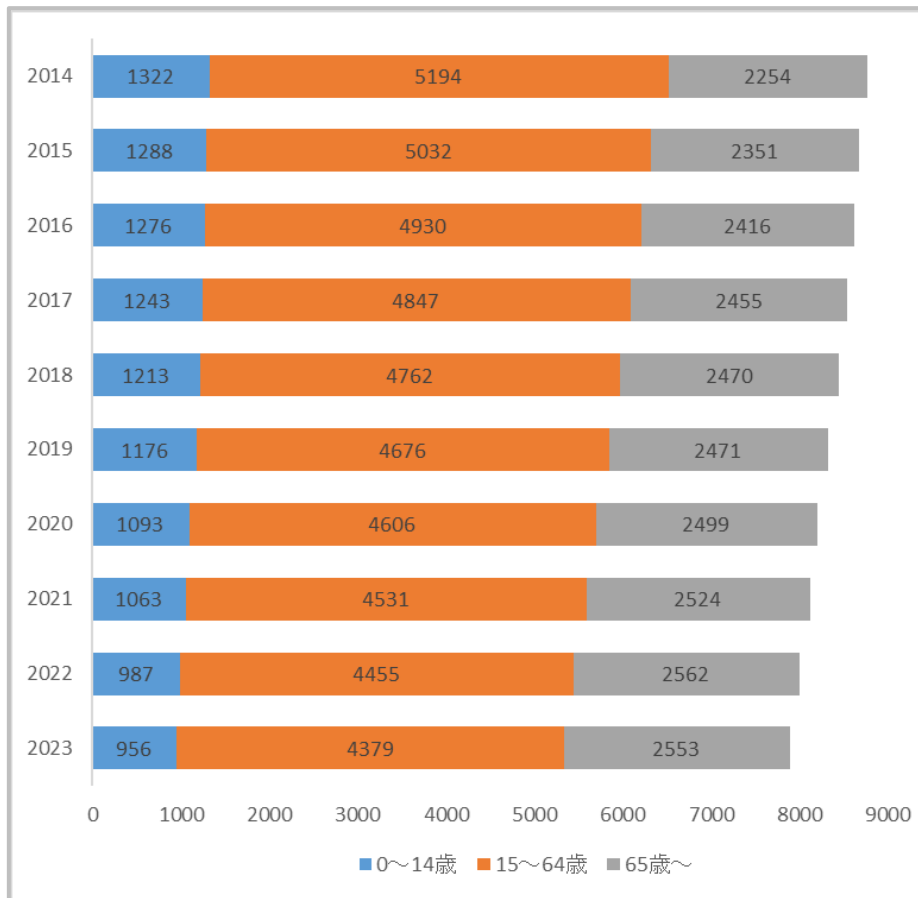
2023/4/1時点

※「民生委員」の合計は主任児童委員2名を含む

②—1 人口推移（基準日：4月1日）

年	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
全人口	8770	8671	8622	8545	8445	8323	8198	8118	8004	7888
男性	4248	4209	4174	4144	4100	4032	3978	3946	3897	3837
女性	4522	4462	4448	4401	4345	4291	4220	4172	4107	4051
0～14歳	1322	1288	1276	1243	1213	1176	1093	1063	987	956
男性	681	667	650	625	615	590	548	528	479	460
女性	641	621	626	618	598	586	545	535	508	496
15～64歳	5194	5032	4930	4847	4762	4676	4606	4531	4455	4379
男性	2591	2514	2474	2452	2420	2370	2332	2304	2275	2249
女性	2603	2518	2456	2395	2342	2306	2274	2227	2180	2130
65歳～	2254	2351	2416	2455	2470	2471	2499	2524	2562	2553
男性	976	1028	1050	1067	1065	1072	1098	1114	1143	1128
女性	1278	1323	1366	1388	1405	1399	1401	1410	1419	1425

②—2 年代別人口推移

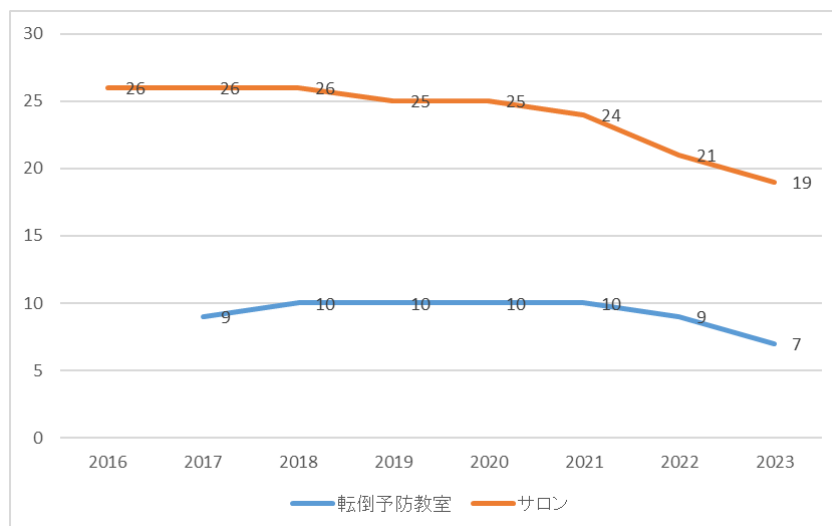


③湖北地区内の福祉事業所、サークルなど（詳細なデータは p. 23 参照）

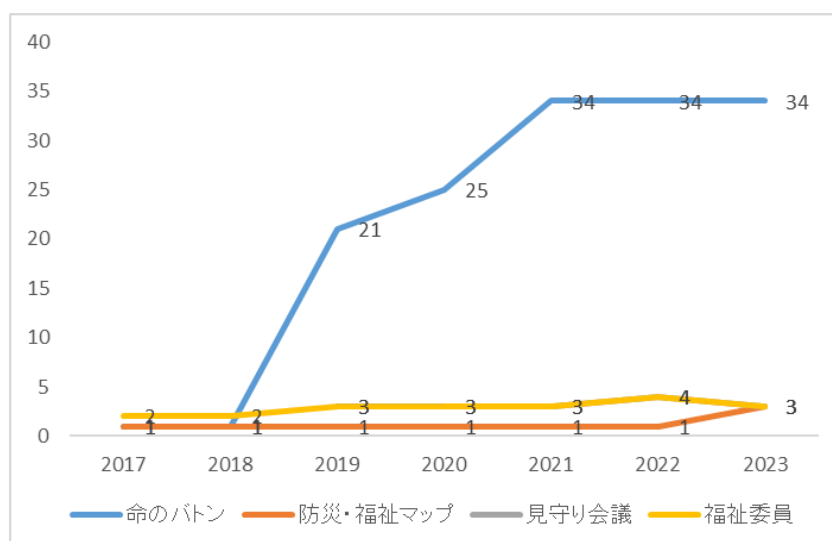
学校・こども園など	
中学校	1
小学校	3
幼稚園	1
認定こども園	2
保育園	1
サークル活動など	
サークル	37
居場所	1

福祉事業所	
高齢サービス	19
しょうがいサービス	4
児童サービス	3

④自治会を中心とした居場所づくり活動の推移

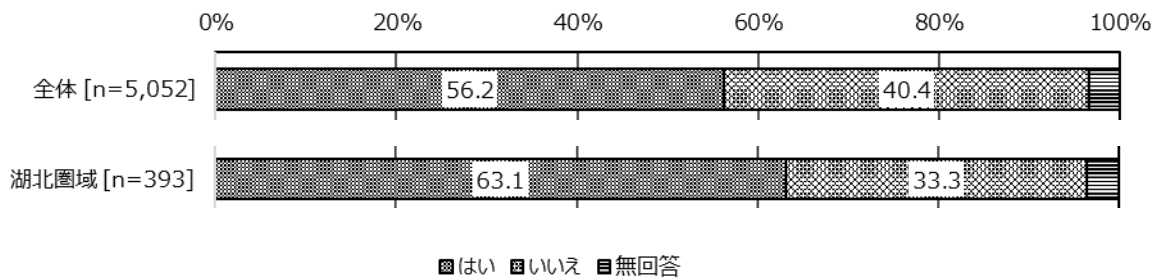


⑤自治会を中心とした見守り活動の推移



⑥高齢者の様子（長浜市高齢者生活実態調査 令和4年12月 より）

1. 他者との関わりの状況 「友人の家を訪ねていますか」 （単位：％）

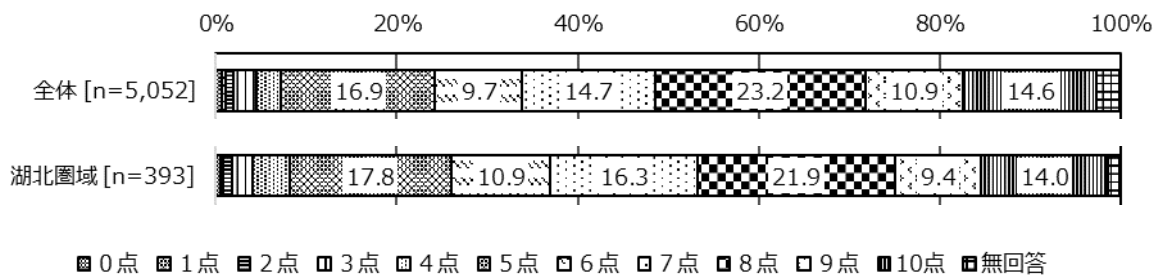


2. 近所のひとり暮らしの高齢者や身体の不自由な方にあなたができること  
（複数回答、単位：％）

	話し相手	見守り	声かけ	相談相手	情報提供	サロン等の誘いかけ	買物	洗濯・干す	調理・料理	部屋の掃除	ゴミ出し
全体	54.2	38.4	59.0	17.1	11.5	9.5	18.1	6.0	4.4	5.3	15.8
湖北	52.7	44.0	62.1	15.3	11.2	10.7	19.6	6.1	3.6	4.8	16.5

	庭や畑の手入れ	外出時の手伝い・送迎	食事の介助	除雪	簡単な日曜大工	入浴・トイレ時の手伝い	介護者や家族への支援	緊急時の連絡・応対	行政・民生委員への橋渡し	何もできない	無回答
全体	9.7	7.5	2.1	17.1	7.0	1.0	2.7	19.3	8.2	10.6	3.5
湖北	9.7	5.9	1.5	19.6	7.6	0.8	4.1	18.6	7.6	10.7	3.3

3. 現在の幸せ度 （単位：％）



4. 今の生活を続けていくために、今後必要な支援 (複数回答、単位：%)

	地域の見守り	買い物の支援	部屋や庭の掃除	ゴミ出し	配食サービス	サロン等地域住民の交流の場	相談窓口	往診	病院等への送迎	除雪・雪下ろし	その他	特になし	無回答
全体	27.5	27.5	11.0	13.8	16.5	11.0	9.9	19.7	34.4	34.5	2.1	25.0	6.4
湖北	28.2	25.4	8.1	10.4	15.3	8.9	10.9	19.3	35.6	29.5	2.0	25.7	7.6

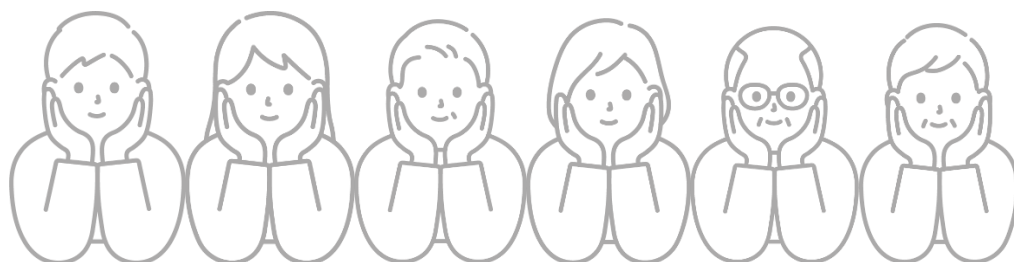
5. 理想の地域 (複数回答、単位：%)

	近くに予約なしでいつでも立ち寄れて、おしゃべりしたりできる居場所がある	近くにちよつとした頼み事が気軽に頼めるところがある	近所の人が見守ってくれて声をかけてくれる	近くに困りごとを相談できる人がいる	受診や・買い物の送迎を気楽に頼める人がいる	一人ひとりが地域のために役割を持てる	無回答
全体	34.2	47.8	29.7	25.1	43.5	11.6	11.0
湖北	34.6	45.0	30.5	26.7	49.6	10.4	10.7

■データまとめ

- ・2014年からの10年間で総人口は10%、年少人口は12%、生産年齢人口は15%減少していることに対し、高齢者人口は13%増加しており、湖北地区においても、全国的な状況となっている人口減少と少子高齢化が進んでいます。
- ・サロン活動、転倒予防活動など自治会の交流活動の件数もコロナ禍の影響を多分に受け、取組み数が減少しています。
- ・見守り活動はコロナ禍でも活動可能な個別の働きかけであったことから、「命のバトン」の取組みがほぼ全自治会に広がっているほか、「防災・福祉マップ」「見守り会議」など、見守り体制の構築に取り組みされる自治会も見え始めています。
- ・しかしながら、「福祉委員」の設置は第2期計画期間中に増加は見られませんでした。

- ・人口減少、少子高齢化が進む中、地区や自治会においては、福祉活動の担い手の確保、育成が課題となってきます。対策として、人材育成の研修会、主体的に活動に参加するための意欲向上を目的とした活動者同士の交流会、活動の相談支援の必要性が高まっています。
- ・また、減少する年少人口、生産年齢人口の状況から、子育て支援活動の実施方法の見直しについても検討時期が迫っていると考えられます。
- ・コロナ禍で減少したサロン活動などの居場所づくりの再興は、身近な範囲のつながりづくりによる福祉活動の推進のため急務の課題となっています。





### (3) アンケート調査、ヒアリング結果より

#### ■ アンケート、ヒアリングまとめ

- ・住民を対象としたアンケート結果では、湖北地区の強み、よいところとして最も多かった意見が「役員が熱心」であることでした、また「たすけあいや支えあいの意識がある」「民児協と自治会が連携している」という意見が次いでおり、地域福祉活動の基盤の強さを感じていることがわかりました。
- ・また、地域の課題としては「高齢化」「少子化」「担い手不足」が上位を占めており、今後の地域福祉活動の必要性の高まりと、担い手育成が課題であることについて認識されつつあります。
- ・課題の中には「声かけの関係性がうすれてきた」「交流の機会の減少」についても全年代がまんべんなく感じている課題であり、身近な人と人との関係性に大きな変化が表れていることについて課題があると感じました。
- ・地域福祉活動の方向性を問う質問に対しては、「居場所づくり」「見守り」「災害時の支援」への回答が多く、地域における日ごろからの関係性づくりの必要性が高まっていることがわかりました。
- ・福祉団体へのアンケート結果では、人口減少、少子高齢化にともなう社会の変化が、対象者への活動内容の変化、また団体の人材育成に対し特に大きな影響があると捉えられていました。
- ・また、今後の活動展開においては、地域住民一人ひとりへの活動の周知・理解の増進に取り組む必要性や、活動団体間の連携など、課題解決の方法としての団体間をつなげる場の必要性が高まっています。
- ・サロン活動者へのヒアリングでは、サロン（居場所）がもたらす様々な効果として、人と人とのつながりが深まること、それが体調や精神面に好影響を及ぼしていることを感じておられます。
- ・しかしながら、いずれのサロンにおいても男性参加者が少ないことによるつながりの懸念、運営者の高齢化にともなう活動継続への課題もあげられているほか、これからの世代に向け、年齢や趣味・特技など様々なテーマで「居場所」をつくることの必要性について言及されています。

(※アンケート調査の詳細は p. 30 参照)

### 3. 基本理念と基本目標

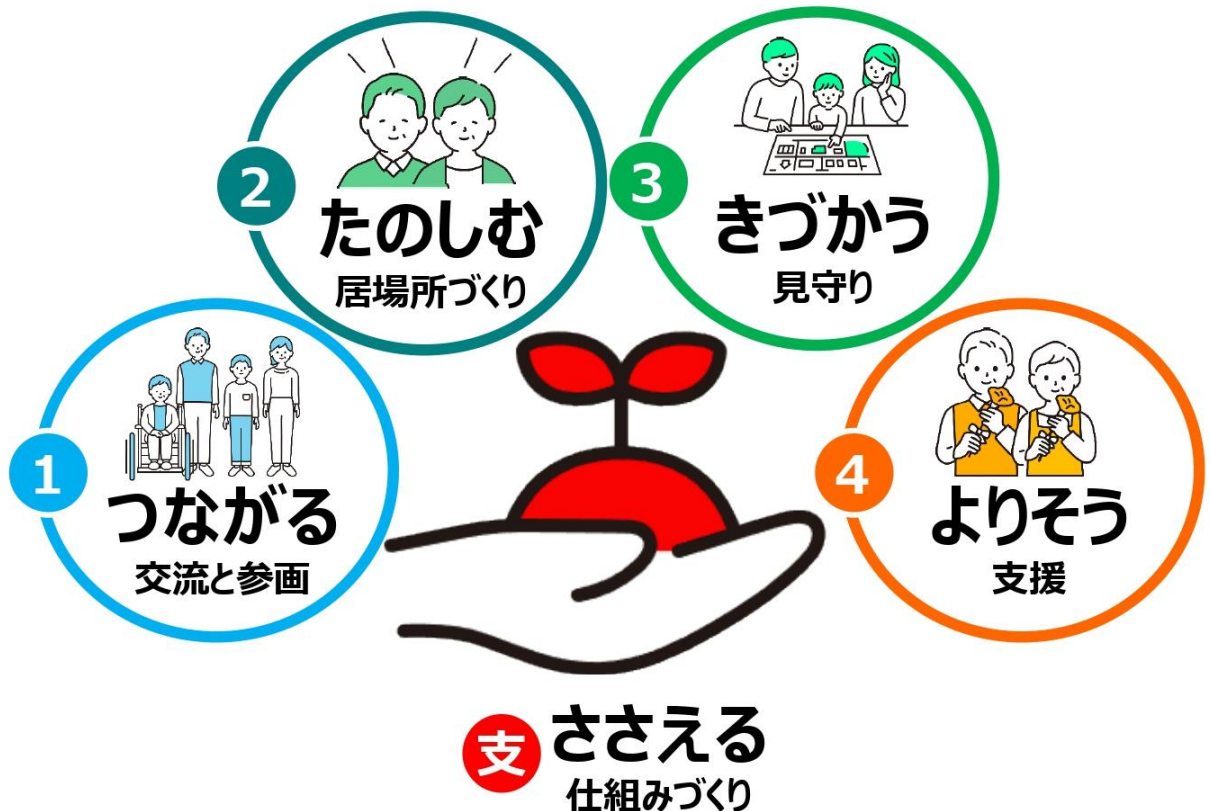
#### ■基本理念

## みんなでとりくむ **こころ** **ほかほか** **く**らせるまち **湖北**

第1期、第2期と理念に掲げてきた「小谷山から琵琶湖まで福祉のロードでつなぐ湖北」に込められた「湖北地区の全体で一体化」を引継ぎ、湖北地区に暮らす一人ひとり、そして福祉活動に取り組む活動者や団体が主体となり、やりがいや達成感を得ながら福祉活動に取り組み、いつまでも安心して暮らせる湖北地区を実現することを目指します。

#### ■基本理念と基本目標

## みんなでとりくむ **こころ** **ほかほか** **く**らせるまち **湖北**



■基本目標

第2期計画より、湖北地区の理念実現に向けた活動を5つの基本目標に整理することで、活動の充実・発展を目指してきました。第3期計画においても、第2期計画の基本目標を引継ぎつつ、社会や活動の変化においては行動指針を整理しなおすことで第3期計画期における活動の推進に取り組みます。

基本目標は「①つながる」から人と人との関係性がはじまり、「②たのしむ」居場所などをおして関係性が深まり、「③きづかう」間柄になることで、見守り活動が推進され、「④よりそう」関係性が育まれる。湖北地区の人と人とのつながり（関係性）が、よりよいものになることを目指しています。また、①～④の基本目標を推進する「ささえる」仕組みづくりに取り組むことで、各基本目標となる活動を後押しします。

みんなで とりくむ  
こころ  
ほかほか  
くらせるまち  
湖北

人と人との  
つながり  
(関係性)



**1**  
つながる  
交流と参画

“つながり”をひろげる  
交流と参画を推進しましょう



**2**  
たのしむ  
居場所づくり

暮らしを“たのしく”する  
居場所づくりを推進しましょう



**3**  
きづかう  
見守り

お互いを“きづかう”  
見守り活動を推進しましょう



**4**  
よりそう  
支援

暮らしに“よりそい”  
たすけあう活動を  
推進しましょう



**支**  
ささえる  
仕組みづくり

基本目標①～④の推進を  
支える仕組みづくり

※基本目標の関係性イメージ図



●基本目標1：つながる

◆“つながり”をひろげる交流と参画を推進しましょう

福祉活動の目的は「人と人とのつながり」をつくることです。

人と人とのつながりが、様々な福祉活動に発展することから、ご近所間、自治会、地区の様々なイベントなど、交流活動に参加・参画することで、人と人とのつながる機会をつくることを推進しましょう。

◆行動指針

- ①つながりを広げる交流と参画の推進
- ②自治会、地域、世代のコミュニケーションの促進
- ③人と人との出会い・知り合う機会づくり

◆目標推進に関わる活動例（【】内は主な活動団体）

- ・湖北福祉のつどいの開催【湖北福祉の会】
- ・世代間交流の推進【湖北福祉の会】
- ・お楽しみさわやか交流会（ひとり暮らし高齢者）  
【健康推進員協議会、湖北地区民生委員児童委員協議会、湖北福祉の会】
- ・グラウンド・ゴルフ大会【老人クラブ連合会湖北支部】
- ・しょうがい児余暇支援事業（サマースクール、クリスマス会）【湖北福祉の会】
- ・福祉施設清掃【長浜市湖北赤十字奉仕団】
- ・子育て交流事業の実施【湖北福祉の会】
- ・保・幼・こども園、小中学校への訪問活動【湖北地区民生委員児童委員協議会】
- ・保・幼・こども園、小中学校との連携（子ども読書推進事業）【湖北福祉の会】
- ・親子読書による子育て推進【おはなしや読み聞かせ等のボランティア】
- ・中学生との交流推進【湖北地区民生委員児童委員協議会】



●基本目標 2 : たのしむ

◆暮らしを“たのしく”する居場所づくりを推進しましょう

人の縁を基にして、たのしく参加しやすい居場所づくりは、豊かで安心した暮らしをつくる大切な活動です。年代や趣味、近隣間など、人の縁を基にすることで参加しやすい居場所をつくり、人と人との縁を深めましょう。

◆行動指針

- ①身近な地域の居場所づくりの推進
- ②元気で暮らすための居場所づくりの推進
- ③趣味や特技を活かした居場所づくりの推進

◆目標推進に関わる活動例（【】内は主な活動団体）

- ・各自治会のサロン活動【各サロン】
- ・各自治会での介護予防（健康づくり）の推進【湖北福祉の会】
- ・生きがいづくり事業の実施【湖北福祉の会】
- ・趣味や特技を活かしたサークル活動【各サークル】



●基本目標3：きづかう

◆お互いを“きづかう”見守り活動を推進しましょう

自治会を中心とした見守り活動は、いつまでも安心して暮らせる地域をつくるためにとても大切な活動です。

日ごろからきづかう見守り活動をとおして関係性を深め、いざという時にもいきる安心感のある暮らしづくりに取り組みましょう。

◆行動指針

- ①自治会を主体とした見守り活動の推進
- ②子どもの健全な育成の見守り

◆目標推進に関わる活動例（【】内は主な活動団体）

- ・各自治会での福祉委員の配置を推進【自治会、湖北福祉の会】
- ・自治会と連携した見守り活動の推進  
【湖北地区民生委員児童委員協議会、湖北福祉の会】
- ・子どもと一緒に自治会内の危険個所の確認【自治会（子ども会）、湖北福祉の会】
- ・歳末友愛訪問の実施【湖北地区民生委員児童委員協議会、湖北福祉の会】
- ・愛の一声ふれあい運動（高齢者訪問）【長浜市湖北赤十字奉仕団】
- ・小学生が作成し高齢者等へ絵手紙年賀状を発送  
【湖北地区民生委員児童委員協議会、各小学校、湖北福祉の会】
- ・子育て支援事業の実施（一歳児訪問）  
【湖北地区民生委員児童委員協議会、湖北福祉の会】
- ・小学生の登校、下校時の見守り活動  
【交通安全協会、湖北地区青少年育成会議、湖北地区民生委員児童委員協議会】





●基本目標4：よりそう

◆暮らしに“よりそい”たすけあう活動を推進しましょう

身近な暮らしの困りごとをたすけあう住民活動を進めることで、社会の変化に対応し、いつまでも暮らしやすい地域づくりを進めましょう。

◆行動指針

- ①身近な暮らしの困りごとを解決できる住民活動の支援
- ②孤独や孤立、生きづらさの解消を目指した活動の展開

◆目標推進に関わる活動例（【】内は主な活動団体）

- ・社会を明るくする運動（地域防犯と非行防止などの啓発）  
【更生保護女性会湖北分区】
- ・ミニ集会（地域住民を対象に再犯などの研修、啓発活動）  
【更生保護女性会湖北分区】
- ・一般公開ケース研究会【更生保護女性会湖北分区】
- ・子育て研修会  
【更生保護女性会湖北分区、湖北地区青少年育成会議、湖北福祉の会】
- ・除雪のお手伝い【各自治会】
- ・自主防災活動【各自治会】



●基本目標5：ささえる

◆基本目標1～4の推進を支える仕組みづくり

様々な福祉活動は湖北地区の暮らしをより良いものにすることを目指した取り組みです。活動が推進しやすいよう、人や団体、活動を支えます。

◆行動指針

- ①福祉活動団体のネットワーク、協働体制の強化
- ②地域福祉活動推進を目指した周知啓発

◆目標推進に関わる活動例（【】内は主な活動団体）

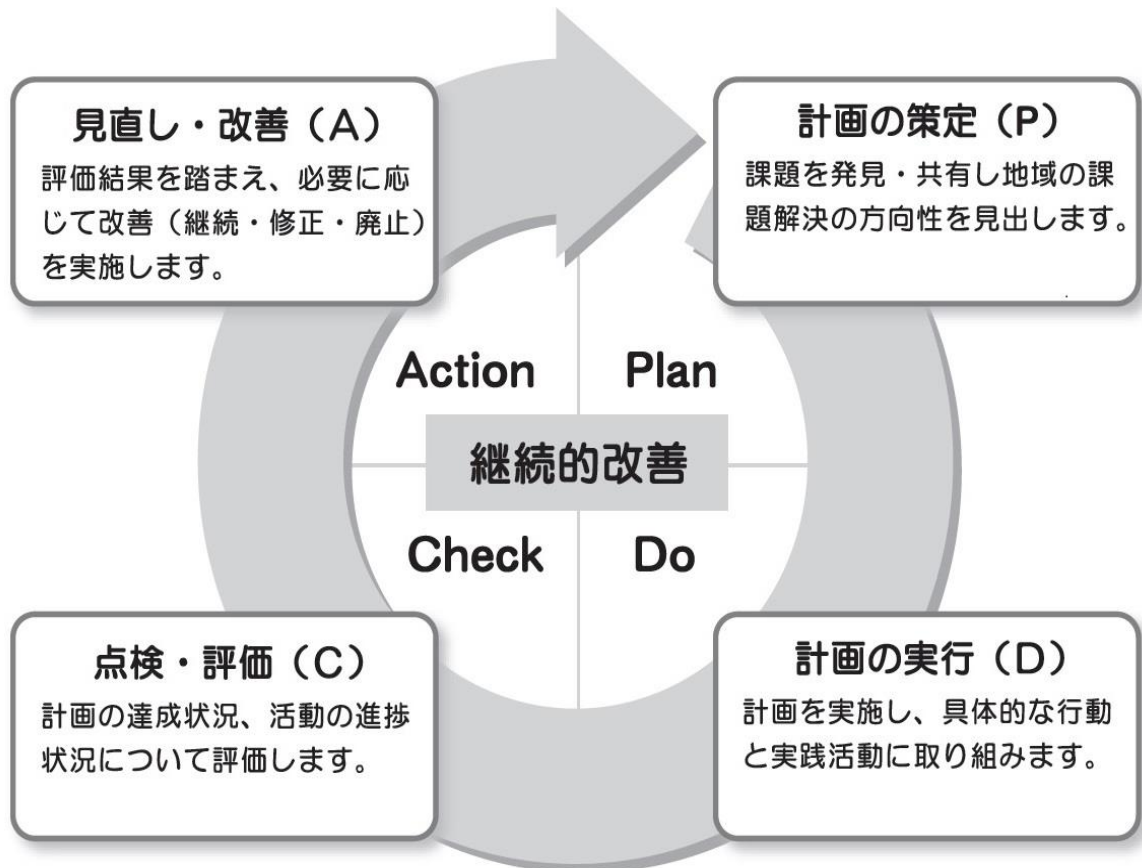
- ・ 広報誌の発行【湖北福祉の会】
- ・ サロン活動の支援（スタッフ交流会の開催、助成金交付）【湖北福祉の会】
- ・ 福祉委員活動支援のための研修会の開催【湖北福祉の会】
- ・ 各団体間との懇談会の開催【湖北地区地域福祉活動計画推進委員会】
- ・ 現在の事業の連携強化と新たな取り組みの創設【湖北福祉の会】
- ・ 活動団体間の連携や協力【各種団体】
- ・ 地域住民、福祉団体と専門機関、専門職の連携や協力  
【地域住民、各種団体、専門職】

## 4. 計画の推進方法

### (1) 計画の推進方法

計画の実効性を高め、円滑で確実な実施を図るため、湖北地区地域福祉活動計画推進委員会において計画の適切な進行管理を図ります。

推進委員会では、計画の進捗状況や達成度を定期的に把握、評価し、必要に応じて適宜見直し等をおこない、常により良い活動や取り組みを推進するPDCAサイクルに沿って、計画の目標達成に向けた進捗管理に努めます。



### (2) 計画の推進体制

湖北地区地域福祉活動計画策定委員会を湖北地区地域福祉活動計画推進委員会に変更し、計画の進捗状況の進行管理（進捗状況のふり返りや改善の話合いなど）を行います。

## 5. 計画策定に関わる情報

### (1) 計画推進に関わる作業概要（日程）

時 期	内 容	備 考
令和5年 4月	湖北地区社会福祉協議会 役員会	・第3期計画策定の説明
	湖北地区社会福祉協議会 総会	・第3期計画策定の説明
5月	コアメンバー会議	・計画策定の説明 ・策定体制の確認 ・策定方法の協議
6月	コアメンバー会議	・スケジュール確認 ・アンケートの修正
7月	アンケート調査（一般住民）の依頼	(7/4 発送)
	アンケート調査（一般住民）の回収	(7/28 回収)
8月	コアメンバー会議	・計画策定の進め方について ・アンケート結果について
9月	策定委員会（第1回）	・計画策定の進め方について
	アンケート調査（福祉団体）の依頼	
10月	アンケート調査（福祉団体）の回収	
	コアメンバー会議	・アンケート結果について ・計画素案について
11月	サロン交流会（意見ヒアリング）	
	コアメンバー会議	・理念・基本目標について
12月	策定委員会（第2回）	・計画素案について
	コアメンバー会議	・計画素案について
令和6年 1月	コアメンバー会議	・計画素案について ・ダイジェスト版について
2月	コアメンバー会議	・計画素案について ・ダイジェスト版について ・周知方法について
	策定委員会（第3回）	・計画素案について ・ダイジェスト版について ・周知方法について ※計画策定
3月	コアメンバー会議	最終調整

## (2) 計画推進委員会名簿

## 第3期湖北地区地域福祉活動計画策定委員会名簿

※敬称略・五十音順

	氏名	団体名等	備考
1	井上 律子	湖北福祉の会しょうがい福祉部会副会長	コアメンバー会議
2	伊吹 清栄	湖北福祉の会高齢者福祉部会副会長 湖北地区民生委員児童委員協議会高齢者部会部会長	コアメンバー会議
3	奥田 豊和	長浜市老人クラブ連合湖北支部会長	
4	北川 澄子	湖北福祉の会しょうがい福祉部会部会長	コアメンバー会議
5	澤村 和良	速水学区連合自治会長	
6	臼井 治兵衛	湖北地区民生委員児童委員協議会児童部会部会長	
7	杉田 峰子	湖北福祉の会児童福祉部会部会長	コアメンバー会議
8	竹本 久隆	湖北地区民生委員児童委員協議会会長	
9	中嶋 守一	湖北福祉の会有識者	
10	長瀬 成実	湖北福祉の会副会長	コアメンバー会議
11	中山 秀子	長浜地区更生保護女性会湖北分区代表	
12	西村 利夫	湖北福祉の会有識者	
13	野橋 幹生	湖北地区青少年育成会議代表	
14	八田 林一郎	湖北地区民生委員児童委員協議会副会長	
15	速水 京子	母子福祉のぞみ会会長	
16	廣脇 正機	湖北福祉の会高齢者福祉部会部会長	コアメンバー会議
17	藤井 耕一	湖北地区民生委員児童委員協議会副会長	
18	藤本 峰代	湖北福祉の会児童福祉部会副会長	コアメンバー会議
19	松田 祐香子	長浜市手をつなぐ育成会湖北支部代表	
20	松山 咲江	湖北福祉の会有識者	
21	丸岡 満寿美	長浜市湖北赤十字奉仕団委員長	
22	八木 久次	朝日学区連合自治会長	
23	矢田 美春	湖北福祉の会会長	コアメンバー会議
24	脇坂 忠彰	湖北福祉の会監事	
25	脇坂 肇	小谷学区連合自治会長	コアメンバー会議
26	岸田 吉雄	長浜市身体障害者福祉協会湖北支部代表	
27	脇坂 亮	湖北中学校PTA会長	

(3) 資料編

①湖北地区内の福祉事業所、サークルなど (p. 10 関連資料)

No.	団体区分	事業区分	団体名
1	高齢	(総)地域通所	(株)真ごころデイサービス
2	高齢	(総)地域通所	(医)安達会マリーデイサービス
3	高齢	(総)通所介護	(福)芳醇会ケアステーションかけはし通所介護事業所
4	高齢	(総)通所介護	(福)長浜市社会福祉協議会リハビリデイサービス湖北
5	高齢	(総)訪問介護	(特非)燦さん夢くらぶ訪問介護事業所 燦さん夢くらぶ
6	高齢	(総)訪問介護	(福)芳醇会ケアステーションかけはし訪問介護事業所
7	高齢	(予)共用認知症通所	(福)まんでんほんわかリビング まんでん小谷
8	高齢	(予)小規模居宅	(福)まんでんまごころホーム まんでん小谷
9	高齢	(予)短期生活	(福)湖北真幸会特別養護老人ホーム 湖北水鳥の里ショートステイ
10	高齢	(予)認知症GH	(福)まんでんグループホーム まんでん小谷
11	高齢	(予)認知症通所	(福)まんでんほんわかサロン まんでん小谷
12	高齢	(予)訪問看護	(一社)れもん訪問看護ステーションれもん
13	高齢	居宅支援	(株)真ごころ真ごころケアプランセンター
14	高齢	居宅支援	(一社)れもんケアプランセンターれもん
15	高齢	居宅支援	(福)芳醇会ケアステーションかけはし居宅介護支援事業所
16	高齢	居宅支援	(福)長浜市社会福祉協議会しゃきょうケアプランセンターえいる
17	高齢	居宅支援	(医)安達会ケアプラン マリー
18	高齢	福祉施設	(福)湖北真幸会特別養護老人ホーム 湖北水鳥の里
19	高齢	福祉施設	(福)湖北真幸会特別養護老人ホーム湖北朝日の里
20	子育て	放課後児童クラブ	ニコニコクラブ (小谷児童館)
21	子育て	放課後児童クラブ	サルビアクラブ (速水小学校内)
22	子育て	放課後児童クラブ	コハクチョウクラブ (朝日小学校内)
23	しょうがい	居宅介護事業所 介護保険	NPO法人 訪問介護事業所 燦さん夢くらぶ
24	しょうがい	居宅介護事業所通 所事業所、介護保険	(福)芳醇会ケアステーション障害福祉サービス事業所 (福)芳醇会ケアステーション生活介護事業所
25	しょうがい	入所事業所	(福)湖北会 湖北まこも
26	しょうがい	計画相談	(福)長浜市社会福祉協議会 しょうがい相談支援事業所 ふらっと



No.	区分		名称	内容	開催場所
1	居場所	子ども	にこにこひろば	親子の交流の場の提供をします。手遊びや読み聞かせ、季節の行事等を楽しみながら、安心して子育てのできる地域づくりを目指します。	小谷児童館
2	サークル	美術	油絵教室	油絵の基礎から楽しく学びます。	湖北まちづくりセンター
3	サークル	美術	ソープカービング教室	専用のナイフを使って石けんに彫刻を施し、花などのオブジェを作ります。	湖北まちづくりセンター
4	サークル	工芸	陶芸教室	陶芸の基礎から学び、オリジナル作品を作ります。	湖北まちづくりセンター
5	サークル	工芸	花クレイクラフト	樹脂粘土を使って、山野草やいろいろな花々を実際に近い形に作ります。	湖北まちづくりセンター
6	サークル	書道・ペン字	書道教室 (昼の部)	楷書・行書・草書から仮名文字までその方にあった指導をおこないます。希望により級を取得することも可能です。	湖北まちづくりセンター
7	サークル	書道・ペン字	書道教室 (夜の部①②③)	楷書・行書・草書から仮名文字までその方にあった指導をおこないます。希望により級を取得することも可能です。	湖北まちづくりセンター
8	サークル	書道・ペン字	ふでペン書画	筆ペンで楽しい文字を書きます。いろんな文字を書き分けることが脳トレにもつながります。	湖北まちづくりセンター
9	サークル	音楽	お市の会	大正琴の練習	湖北まちづくりセンター
10	サークル	音楽	岳心流吟詠 滋賀岳心会	岳心流吟詠、研修や発表会	湖北まちづくりセンター
11	サークル	舞踊・ダンス	フラダンス教室	星や風などの自然や心の動きを手で表現します。	湖北まちづくりセンター
12	サークル	舞踊・ダンス	舞踊壽扇流 壽扇会	日本の良き伝統文化を再認識しながら、心身の健康に留意して、古典舞踊、新舞踊、創作舞踊等の練習に励み舞台発表などを行っています。	湖北まちづくりセンター
13	サークル	舞踊・ダンス	子どもリズム体操教室	子どものしつけや運動能力を引き出し、基礎体力を身につけ、集団の中でルールを学びながら、いろんな運動をします。	湖北文化ホール
14	サークル	舞踊・ダンス	キッズダンス教室	「ダンスで楽しく自分を表現して、心も身体も元気になろう」をモットーに、子どもたちの好きな J-POP などでダンスをします。	湖北文化ホール

15	サークル	文芸	俳句・短歌教室	俳句や短歌に季節や気持ちを織り込み、自分の思いを表現します。	湖北まちづくりセンター
16	サークル	お花	華道教室	趣味の生け花や、免状の取得を目指す方。開講時間内の都合の良い時間に受講できます。(生花・自由花・立華)	湖北まちづくりセンター
17	サークル	手芸	編み物教室	棒針編み、かぎ針編みなど初級コースから学びます。余暇を楽しみながら自分に合った作品を作ります。	湖北まちづくりセンター
18	サークル	料理	旬の素材で簡単料理教室	季節の旬の食材を使った、簡単和食を元シェフから学びます。男性も大歓迎です。	湖北まちづくりセンター
19	サークル	料理	こほくグルメンクラブ	各種食材を持ち込み、自立した男の料理をスキルアップすることで、自共公の一助とする。	湖北まちづくりセンター
20	サークル	スポーツ	3B体操教室	ボールやベル、ベルダーなどの道具を使い音楽に合わせて身体を動かす楽しい体操です。運動不足の解消に最適です。	湖北まちづくりセンター
21	サークル	スポーツ	リラックスヨガ教室	ゆったりした気分で呼吸を整え、身体をほぐし優しく自らを癒やして健康的な身体づくりをします。	湖北まちづくりセンター
22	サークル	スポーツ	ゆるやかヨガ教室	何か身体にいいこと始めたい方。お家でできるセルフケアを含めたヒーリングヨガで自分を癒やし健康になりましょう。	湖北文化ホール
23	サークル	スポーツ	健康ヨガ教室	身体の縮みをほぐし、緩みを引き締め、ゆがみを正しながら心と身体のバランスをとります。	湖北文化ホール
24	サークル	スポーツ	ピラティス教室	理想とする正しい姿勢を学習し、その感覚を身につける。体幹を整えたり、バランス力を高めたり、トータルエクササイズを行います。	湖北まちづくりセンター
25	サークル	スポーツ	ズンバ教室	ラテン音楽や世界中の音楽に合わせて、楽しく身体を動かしカロリーを消費します。ダンス経験がなくても気軽に楽しめます。	湖北まちづくりセンター
26	サークル	スポーツ	湖北笑いヨガクラブ	笑って楽しむヨガ	湖北まちづくりセンター
27	サークル	スポーツ	ヘルスアップきらめき会	エアロ、ヨガ等取り入れて、音楽に合わせて体を動かします。肩こり、腰痛予防に役立っています。	湖北まちづくりセンター
28	サークル	スポーツ	湖北リズム体操	健康づくりのための体操	湖北まちづくりセンター

29	サークル	スポーツ	湖北町エアロビクスクラブ	エアロビクスを通して健康増進、そしてリフレッシュ。関心ある人は1回無料体験レッスンを実施している。	湖北まちづくりセンター
30	サークル	スポーツ	湖北太極拳クラブ	太極拳・練功18法等の練習	湖北まちづくりセンター
31	サークル	スポーツ	YOGA CLUB	ヨガで健康維持の促進。	湖北まちづくりセンター
32	サークル	歴史	古文書教室	湖北地域に伝わる古文書等の解説を学びます。	湖北まちづくりセンター
33	サークル	図書館	つながろう！子どもと本～「けやきっ子プロジェクト」～おはなし会	絵本の読み聞かせや紙芝居など	湖北図書館
34	サークル	図書館	つながろう！子どもと本～「けやきっ子プロジェクト」～はぐはぐおはなし会	絵本の読み聞かせや手遊び・紙芝居など	湖北図書館
35	サークル	イベント	歌はともだちクリスマスコンサート	クッキーズのおねえさんたちによる、歌や踊り、ミュージカル	湖北文化ホール
36	サークル	イベント	2023 KOHOKU ふれあい広場文化祭みんなの作品展	湖北地域の保育園児、こども園児、幼稚園児、小・中学校児童生徒の作品、サークル、教室、サロン、デイ、一般などの作品展	湖北文化ホール および湖北まちづくりセンター
37	サークル	イベント	2023 KOHOKU ふれあい広場文化祭ステージ発表会	キッズダンス、フラダンス、オカリナ、コーラス、吹奏楽、舞踊などの日ごろの活動成果の発表会	湖北文化ホール
38	サークル	イベント	湖北地区 人権のつどい	講演会「なぜ、差別はなくなるの？」～元いじめられっ子からのメッセージ～	湖北文化ホール

②湖北地区福祉活動計画策定に関わる福祉活動アンケート調査結果 (p. 12 関連資料)

調査期間：令和5年7月24～28日

調査方法：各自治会長から住民に対して調査依頼と回収

(調査数は自治会世帯数の5%を基準に調査依頼)

アンケート回収数：183件

自治会男女別回答数

自治会名	男性	女性	無記入	合計
小谷郡上自治会	3	2		5
小谷美濃山自治会	3			3
小谷上山田自治会	4	1		5
小谷丁野自治会	8	8		16
山脇自治会	2	2		4
河毛自治会	7	1	1	9
別所自治会	1	1		2
留目自治会	4	1	1	6
小今自治会	2		1	3
賀自治会	2	2		4
馬渡自治会	5	3		8
大安寺自治会	1	2	1	4
小倉自治会	6		1	7
湖北高田自治会	2	3	2	7
速水自治会	26	23	1	50
八日市自治会	7	1		8
猫口自治会	2	2		4
大光寺自治会	1	2		3
海老江自治会	5	3		8
延勝寺自治会	5	4	1	10
津里自治会	3	1		4
石川自治会	1		1	2
尾上自治会	3	5	1	9
合計	103	67	11	181

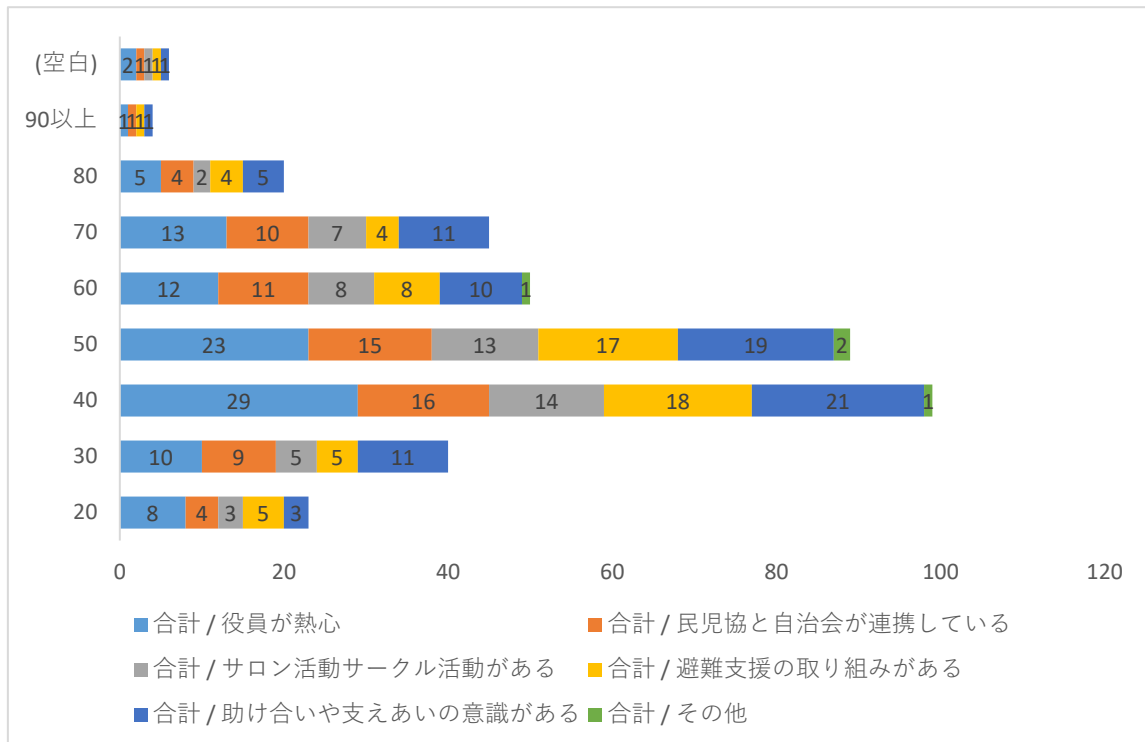
自治会年代別回答数

年代	小谷郡上	小谷美濃山	小谷上山田	小谷丁野	山脇	河毛	別所	留目	小今	賀	馬渡	大安寺
20						1					2	
30	1			1	1	1		1	1	1		2
40		1		5	1	3			1	1	1	
50	2		4	3		2	2	3		2		
60	1	1	1	2	1						2	1
70		1		2		1		1			1	
80	1			3	1						2	
90以上												
無記											1	
総計	5	3	5	16	4	8	2	5	2	4	9	3

年代	小倉	湖北高田	速水	八日市	猫口	大光寺	海老江	延勝寺	津里	石川	尾上	総計
20	1		3				1	1				9
30	1		6	1	1	1		1				20
40	1	2	13	6		1	3		2	1	2	44
50	2	1	14	1	1		3	3	1		1	45
60			5		1	1		4			3	23
70	1	2	7		1					1	3	21
80			2				1					10
90以上									1			1
無記			1									2
総計	6	5	51	8	4	3	8	9	4	2	9	175

### 問1. 地域の強み・良いところ（複数回答）

地域の強みや良いところについて、年代による回答の差異は少なく、まんべんなく全ての世代において「地域の強み」についての回答は共通していました。



回答の結果は、最も多い順から

「役員が熱心（183）」

「たすけあいや支えあいの意識がある（82）」

「民児協と自治会が連携している（71）」

「避難支援の取組みがある（63）」

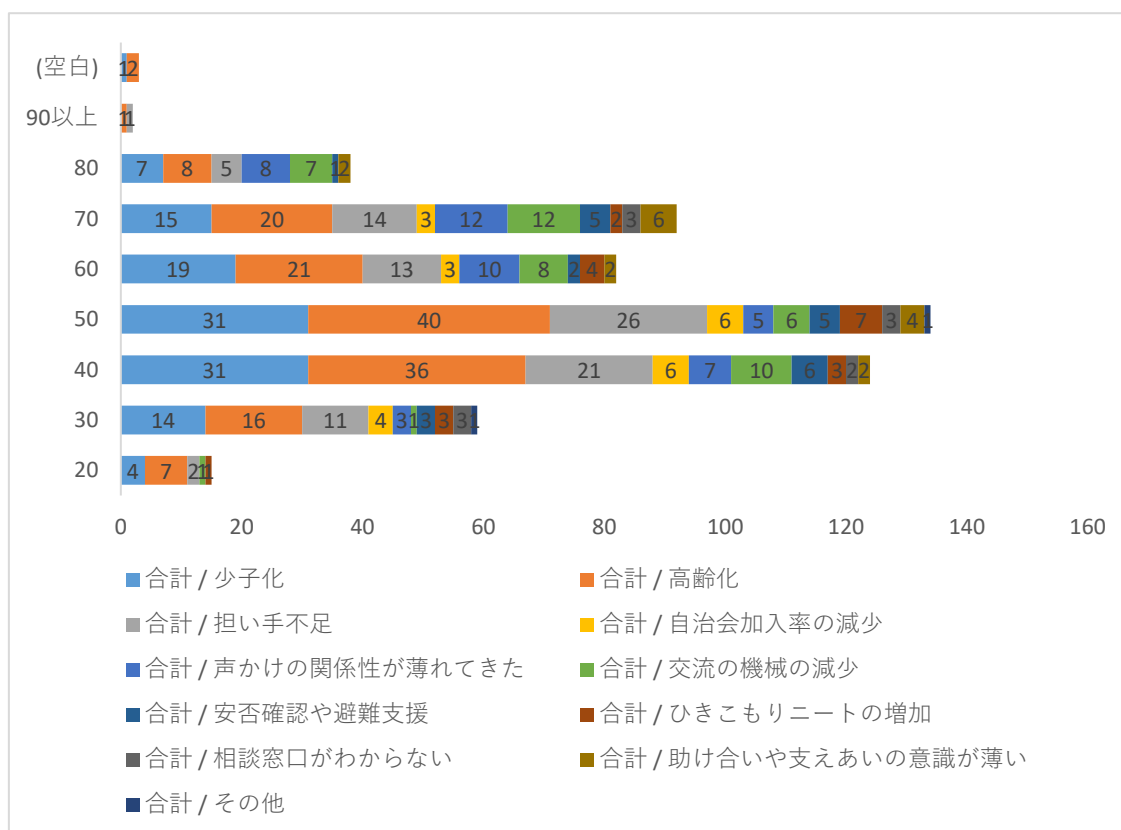
「サロン活動、サークル活動がある（53）」

「その他（4）」

となっています。（複数回答で総回答数が 376）

## 問2. 地域の課題（複数回答）

地域の課題についても、年代による回答の差異は少なく、まんべんなく全ての世代において「地域の課題」についての回答は共通していました。



回答の結果、最も多い順から「高齢化 (151)」「少子化 (122)」また「担い手不足 (93)」となっており、今後の地域活動などに対する担い手、人材の不足が課題と捉えられています。

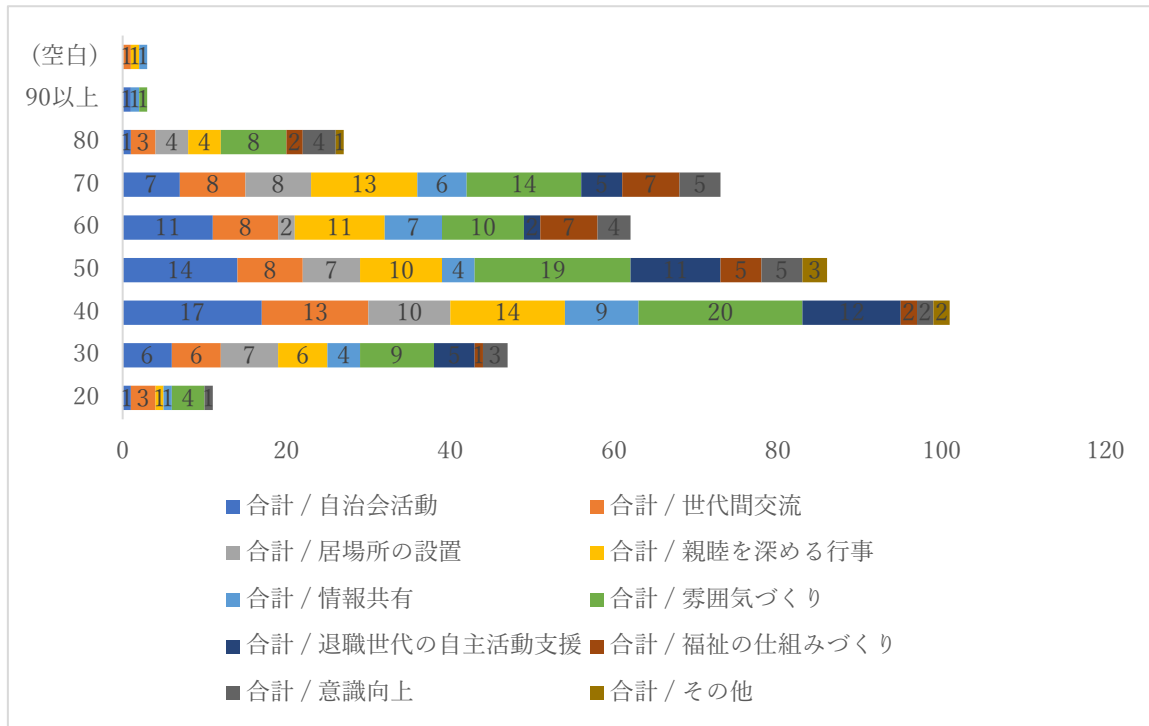
また、その次には「声かけの関係性がうすれてきた (45)」「交流の機会の減少 (45)」「安否確認や避難支援 (22)」が続いており、日ごろからの関係性の希薄化やいざという時を見越した日ごろの見守り関係づくりに対する課題感が続いています。

(複数回答で総回答数が 549)



### 問3. コミュニティを守るために取り組むと良いこと（複数回答）

コミュニティを守るために取り組むと良いことについても、年代による回答選択への大きな差異は見られなかったものの、回答の総数で見ると50歳代の回答総数が他の質問項目と比べて少し少なめになるという傾向がありました。



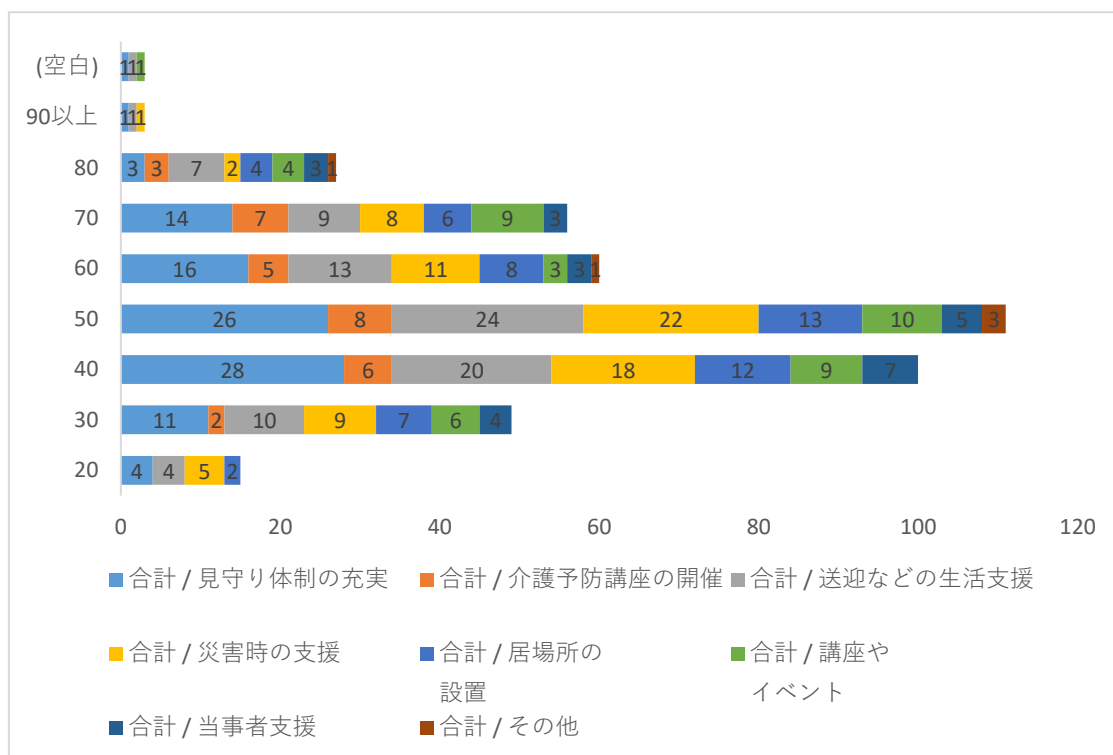
回答の結果、最も多い順から

- 「雰囲気づくり（85）」
- 「親睦を深める行事（60）」
- 「自治会活動（58）」
- 「世代間交流（50）」
- 「居場所の設置（38）」
- 「退職世代の自主活動（35）」
- 「情報共有（33）」
- 「福祉の仕組みづくり（24）」
- 「意識向上（24）」
- 「その他（6）」

となっています。（複数回答で総回答数が413）

#### 問4. 高齢者が安心して暮らすために取り組むと良いこと（複数回答）

高齢者が安心して暮らすために取り組むと良いことについても、年代による回答選択への大きな差異は見られなかったものの、回答の総数で見ると40歳代、50歳代の回答総数が他の質問項目と比べて高なめになるという傾向がありました。



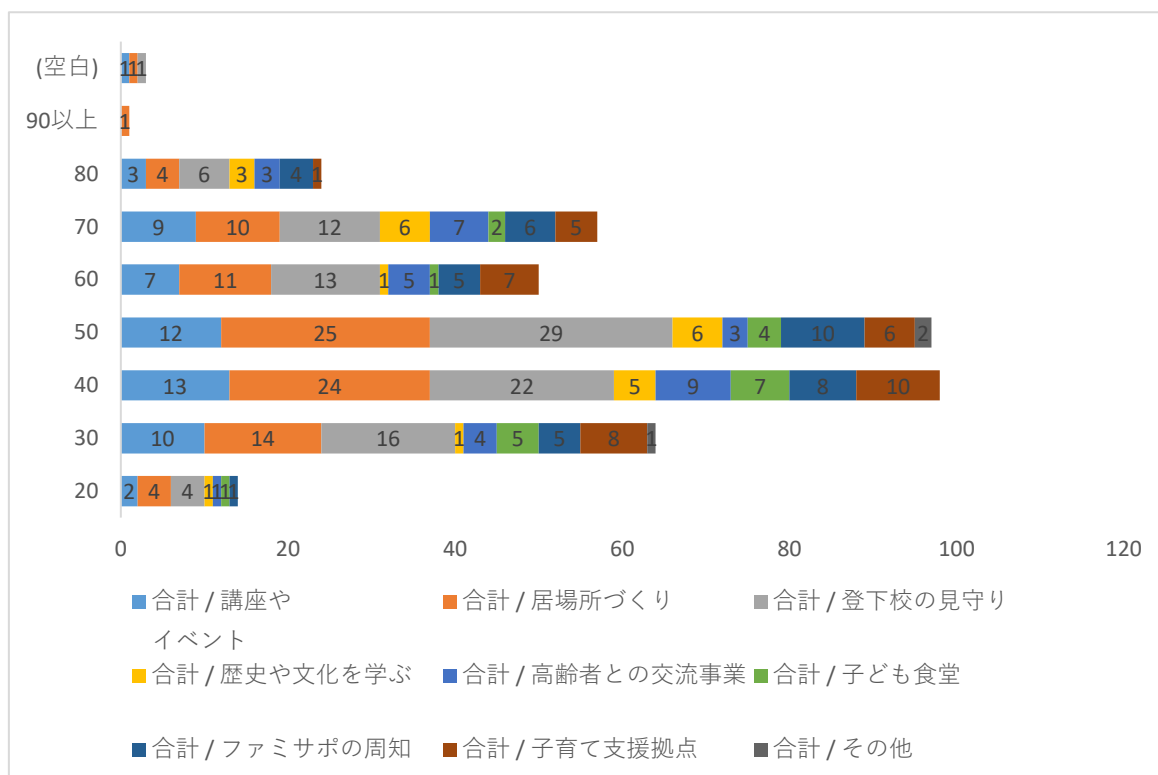
回答の結果、最も多い順から

- 「見守り体制の充実（104）」
- 「送迎などの生活支援（89）」
- 「災害時の支援（76）」
- 「居場所の設置（52）」
- 「講座やイベント（42）」
- 「介護講座の開催（31）」
- 「当事者支援（25）」
- 「その他（5）」

となっています。（複数回答で総回答数が424）

## 問5. 子どもの育成のために取り組むと良いこと（複数回答）

子どもの育成のために取り組むと良いことについても、年代による回答選択への大きな差異は見られなかったものの、回答の総数で見ると30歳代、40歳代の回答総数が他の質問項目の同年代の回答総数と比べて高なめになり、70歳代より上の年齢層では回答総数が他の質問の同年代の回答総数と比べて低めになるという傾向がありました。



回答の結果、最も多い順から

「登下校の見守り（103）」

「居場所づくり（94）」

「講座やイベント（57）」

「ファミサポの周知（39）」

「子育て支援拠点（37）」

「高齢者との交流（32）」

「歴史や文化を学ぶ（23）」

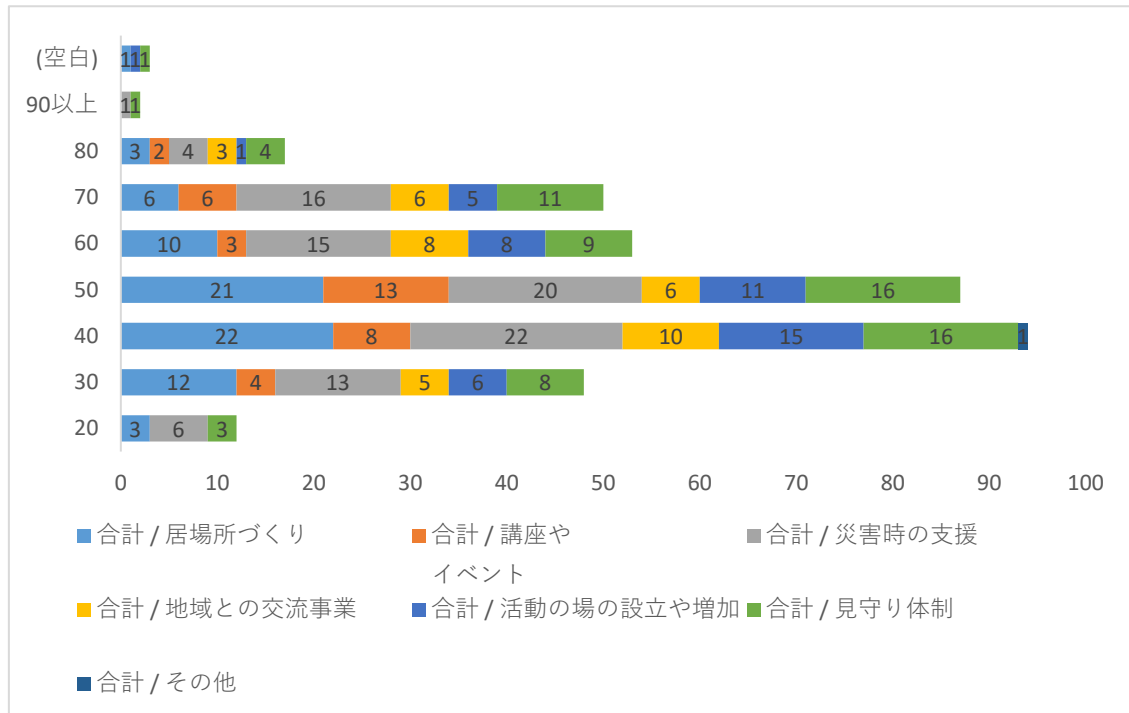
「子ども食堂（20）」

「その他（3）」

となっています。（複数回答で総回答数が408）

## 問6. しょうがい者の方に向けたサービスで取り組むと良いこと（複数回答）

しょうがい者の方に向けたサービスで取り組むと良いことについても、年代による回答選択への大きな差異は見られなかったものの、回答の総数で見ると30歳代、40歳代の回答総数が他の質問項目の同年代の回答総数と比べて高なめになり、70歳代より上の年齢層では回答総数が他の質問の同年代の回答総数と比べて低めになるという傾向がありました。



回答の結果、最も多い順から

- 「災害時の支援（97）」
- 「居場所づくり（78）」
- 「見守り体制（69）」
- 「活動の場の設立や増加（47）」
- 「地域との交流事業（38）」
- 「講座やイベント（36）」
- 「その他（1）」

となっています。（複数回答で総回答数が366）

③湖北地区福祉活動計画策定に関わる福祉活動アンケート調査結果 (p. 12 関連資料)

調査期間：令和5年9月26日～10月20日

調査方法：湖北地区内の福祉団体に対して調査依頼と回収

アンケート回収数：15件

1. 活動をとおして感じる湖北地区の課題

- ・高齢化が進み、ひとり暮らしや高齢者のみ世帯が増えていること。
- ・子どもの数が減少している。
- ・地域のボランティアや、〇〇委員といった「役」の担い手がいなくなっている。
- ・自治会や様々な団体でリーダーのなり手不足。
- ・大家族が減って、家族が高齢者を支える、という形が少なくなっている。
- ・高齢者のみの家庭が増えており、介護などのニーズが増えること、また、防災・防犯、地域の維持などに課題が増えている。
- ・しょうがい児者との交流機会をどのようにつくるか。
- ・子育てに不安を持って人との交流が難しい。
- ・子育ての不安や悩みを和らげ同年代の方との交流ができる場を開催しているが、周知が上手くできず参加者が少ない。
- ・湖北地区の高齢化率は32.42% (2023/10/1) と、市全体の29.14%と比べて高い率を示しています。あわせて、一人暮らし高齢者や高齢者のみ二世帯の増加も顕著です。この状況に加えて、2025年には団塊の世代と呼ばれるすべての人が75歳以上の後期高齢者になります。これらのことを踏まえると、いくつかの懸念が見えてきます。1. 核家族化や年の寿命と健康寿命の差などから生じる「老老介護」への理解と支援 2. 高齢者の引きこもりに関わる相談活動と地域コミュニティの活性化に不安があります。
- ・空き家の増加。
- ・人間関係の希薄化。(人のつながり、価値観の多様化)
- ・コロナ禍の影響や個人情報保護の観点で、他人の家庭に対して声掛けしにくく、心を閉ざしてしまう傾向がある。人と人の距離が遠くなったと感じる。
- ・婦人会、老人会の解散による地域社会における横のつながりがなくなっている。
- ・活動するにも高齢化などから移動手段に課題がある。

2. 課題に対し各団体で取り組みたいこと

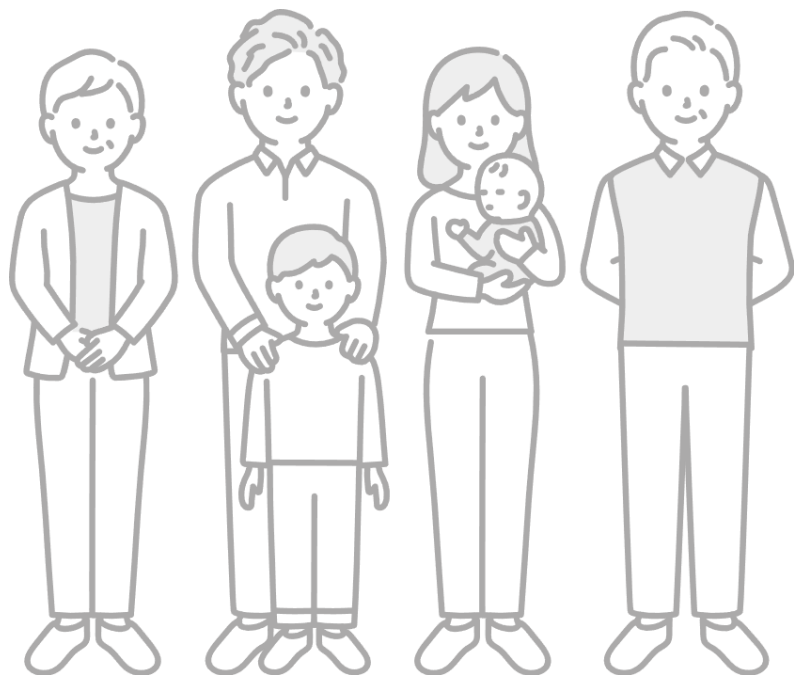
- ・地域の事情を把握して行って、子ども食堂に取り組みたい。
- ・高齢者を社会で支えることの一助として、見守り、交流活動などを、民生委員などと協力して行いたい。
- ・しょうがい者やその関係者(保護者等)、その他様々な生きづらさを抱えておられる人たちの生の声を聞く機会が作りたい。
- ・場所や広告、周知できるものがあると誘いあって参加者も増えるかもしれない。

- ・地域包括支援センター等の専門機関との連携強化。民生委員児童委員協議会では専門機関との情報交換、意見交換の場を定期的に設けることで、双方の取り組みの進化を図っています。
- ・高齢者の引きこもりや老老介護の難しさから、「虐待」に対する理解と啓発を深化させ、高齢者の人権（権利擁護）尊重意識を高めることに取り組んでいます。
- ・要配慮者に関わる情報を、一定の規約はあるものの積極的に自治会に提示していくことは「共助」の観点から必要不可欠と考えます。民生委員からの働きかけで自治会との情報交換の場を活性化させていきたいと思っています。
- ・高齢者の見守り活動を通じて、人のつながりを大切にすると共に自治会との連携を蜜にし、非常時に備えたい
- ・中学生との交流を少しでも深める為、スポーツ（グランドゴルフ）を通して交流をもつ事を考えている。※湖北グランドゴルフ協会は中学3年生との交流試合を行っている。（生徒達は毎年おおいに楽しんでもらっている）
- ・行政から課題を提案してもらいその方向性で各自治会が取組めるための補助事業を策定していけると取り組みやすい。
- ・いろいろな立場の人が情報交換をして、計画の方向性を考える
- ・安心、安全な生活が送れるように、地域防犯を含め、困ったことがあれば助け合える、助けてと言ってもらえる様な人間関係づくりと支援をする。
- ・ミニ集会を開催し、明るい社会づくりの啓発に努める。地域でのイベントに更生保護女性会として参画したい。
- ・福祉施設や福祉ステーションの清掃作業は協力的に参加して頂いているので、この事業は特に参加型の活動の中でも、力を入れて取り組みたいと思います。奉仕団活動をアピールしていきたいと思います。

### 3. 「誰もが安心して地域で暮らす」ために、 こんな仕組みや活動があればいいなと考えること

- ・子ども食堂など、誰もが立ち寄って話ができる、いこいの場のような場の設定が必要かとも思います。
- ・高齢者が生活のための、あるいは楽しみのため、外へ出やすい交通手段をもっと充実させてほしい(⇒行政の仕事)現在のデマンドタクシーを自宅から利用できるようにする、旧町をこえたしくみを作るなど。
- ・地域の困りごとにも気軽に相談できるようなカフェ的な（井戸端会議的な）場所がたくさんあるとよい。
- ・地域コミュニティの再創出（私の居場所づくり）。ひとり暮らし高齢者や平日の昼間に一人になる高齢者の増加を踏まえ、自治会内における「福祉推進体制の整備」や、自治会の支援のもとに空き家等を活用した居場所（サロン）づくりが進められ、健康寿命を延ばす取り組みが自治会の事業として展開出来る仕組みが出来ればと思います。
- ・全ての年代層が集うイベント

- ・男女、年代を問わず、意見が出せる自治会組織
- ・個人情報の保護がありなかなか難しいが、自治会ごとでひとり暮らし高齢者などを把握するしくみがあればいい
- ・福祉活動を推進していくために、一人では活動しにくいので、福祉委員など、地域福祉に関わる担当者を複数依頼し、活動の輪を広げられないか。
- ・ネット社会であるために、サイバーリスクによる、高齢者が被害者とならないような学習会の開催。
- ・子育て支援、子育て広場の回数を増やしてはどうか、また、福祉ステーションのスペース内で、親子が家とは違った空間で遊べる、くつろげるラインで子育て情報を拡散する。



④サロン活動者へのヒアリング調査結果 (p. 12 関連資料)

調査期間：令和5年11月17日

調査方法：サロン研修会に参加したサロン運営者へのヒアリング調査

調査数：9サロン(17名)

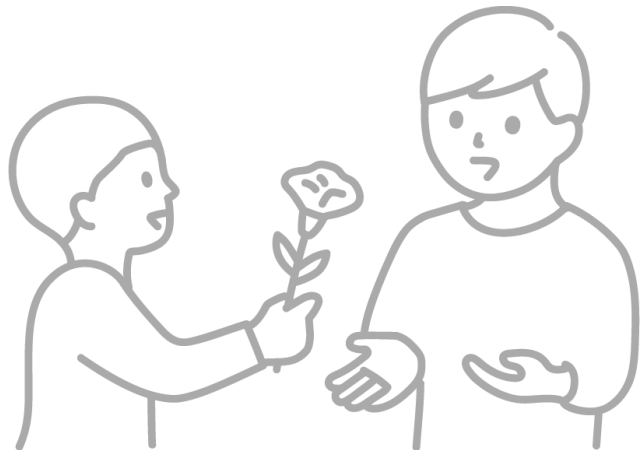
1. サロン活動をやっている(地域にとって、運営者にとって)よかったこと
<ul style="list-style-type: none"><li>・地域のみんなどしゃべれることを喜んでいる。</li><li>・元気な顔が見える・喋ることで元気になっている。(頭や体を使うことは嫌がられる)</li><li>・毎月内容を考えることは大変だけれど、他のスタッフと一緒に考えることで励みになる。</li><li>・家にいると誰とも会えないけれど外にできると交流できる。</li><li>・お出掛けサロン(みんなでランチ)が一番好評だった。喜んでもらえると嬉しい。</li><li>・収穫祭をして食事会をしたら盛り上がった。</li><li>・スタッフに男性がいると男性も参加しやすい。</li><li>・人とのつながりができ、普段しゃべらない人とも話すようになった。世間の情報も入る様になった。</li><li>・安否確認ができる。</li><li>・サロン参加者とスタッフの垣根がなくなった。</li><li>・自治会も巻き込むために赤十字奉仕団や老人会・健康推進員と一緒にサロンの運営をしている。</li></ul>
2. サロン活動の課題はどんなことか
<ul style="list-style-type: none"><li>・男性の参加が少ないこと。</li><li>・参加者が新しく入らない。(メンバーの固定化(60代はまだ仕事をしている))</li><li>・サロンが何をしているのか知らない人も居る。</li><li>・来てもらうためにサロン通信を全戸配布しているが反応なし、誘っても来てもらえない。</li><li>・サロン対象者となる人が沢山いるが参加してもらえない。</li><li>・不参加の人にどう関わって行けばいいか分からない。</li><li>・サロンスタッフの担い手もなく、片付けも協力してもらえないので、続けていけるか不安。</li><li>・参加者よりもスタッフの方が多くなってきたが、中止してしまうと二度と再開できないので頑張って続けている。</li><li>・高齢になっても後継者が居ないためずっとスタッフ。(新しい人が入っても役員はしたくないと拒否される)</li></ul>
3. サロン活動を通して見た自治会や個人の課題や困りごとはありますか?
<ul style="list-style-type: none"><li>・スタッフの担い手不足と参加者の減少。(施設に入所されるなどで)</li><li>・少しでも体が悪いと参加してもらえない。</li></ul>



- ・ふれあうことが好きじゃない年代が今後増加してくる。
- ・自分の楽しみは自分で見つけられる時代。サロンは必要なの？
- ・自治会に福祉に力を入れるように要望している。
- ・会場の準備。
- ・それぞれが自分の好きなことを好き寄りで参加している。
- ・自治会が運営していくという意識がない。
- ・サロン会場が2階で移動が大変・エレベーターがないと。
- ・気軽に集まれる場所があると良い。

#### 4. サロン活動を続ける（新たに始める）ためにあったらいいなと思うこと

- ・座ったまま楽しめる何か。（DVD とかが良い）
- ・口を動かすのが良い。（話す・食べる）
- ・自治会同士でも集える機会が減少しているので、気軽に集える場があると良い。（老人会なども巻き込んで）
- ・サロン開催前に自治会の放送で「〇〇時から〇〇時まで開けています」と呼びかけることで気軽に来てもらえる様に工夫している。
- ・老人会の役員（男性）をサロンスタッフになってもらおうと、「役員だから」と来てくれる。1, 2人だと他の男性は来ないが、5人くらい来ると沢山来てくれる。
- ・参加費（100円）と自治会費を併せて、ゴミ袋などの生活必需品で還元したりしている。（年末はクリスマス会して景品豪華にする等）





湖北地区地域福祉活動計画策定委員会

事務局：長浜市社会福祉協議会

住 所：長浜市湖北町速水 1860 電 話：0749-78-2144